

---

# キミと見た奇跡の流星群

きやらめる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

キミと見た奇跡の流星群

### 【NZコード】

N6946M

### 【作者名】

さやらめる

### 【あらすじ】

空野真央

空野真央は10年に一度の奇跡の流星群を見たいと思っていた。

その理由は流星群の言い伝えが・・・。

そして真央の好きな人、河坂肇とのおもしろ恋。

真央と肇のドタバタ恋物語です！

## 第一話 ドジ中の幸い

高校1年生の空野真央は只今10年に一度の奇跡の流星群の情報を集めている。その理由は、奇跡の流星群が流れるとき願いが叶えられる。という言い伝えを知ったからだ。

真央はこのごろ成績がとても落ちてきていた。そして、不幸ながら帰り道に恋バナではしゃぎすぎて靴を一足泥にはまってしまったのだ。

靴を取り出そうとして手を突っ込んだところ手が抜けなくなってしまったのだ。友達は真央を放つて先に行ってしまった。不幸だ。

一生懸命引っ張るが抜けない・・・。

キキッ　　自転車の止まる音がした。

見上げると同級生らしい男子が見ている。  
夕焼けのせいで顔が見えない。

「ドジ真央！どうした？？」

聞き覚えのある声・・・。うつすら見える男子のキー ホルダー。

真央はハッとした。

河坂肇だ。真央の好きな人でもあり一番親しい友達でもあるやつだ。

「あ、真央。もしや手が抜けなくなってるだろ！」

肇がズバツとあてたとたん真央の顔がボツと赤くなった。

「う・・・うん」

真央がしおしおと返事をした。

好きな人にまぬけな姿を見られるのは苦しいものだ・・・。

肇がププツと噴出した後、肇が口を開いた。

「じゃ、がんばって～」

肇がピースして自転車をこぎ始めた。

真央が叫んだ。

「と・・肇！たすけろおおおおお！」

真央の顔は真っ赤になつた。

筆は5メートル先でとまつて、考えたあと戻ってきた。

「じゃあ、今日おじつて！」

真央はギクリとした。

こんな展開になるとは聞いていないぞーと心の中でツッコンだ！  
「おじつてくれなきや助けないよお～」

筆ははニヤニヤしながら真央を見下ろしている。

真央はガックリしながら決断した。

「よ・・・よし！おじつてあげよう」

筆はニツと笑つた。その笑顔がやけにかつこよく感じた真央だった。

筆は腕まくりして回りの泥を除いてくれた。

その顔が真剣だつた。真央の胸がキュンとした。  
やつと指が抜けた。靴もとれた。

「ありがとう」

真央が照れながら行つた。

「どういたしまして。じゃあ約束！マック行こい！」

筆が言つた。やつぱりかっこいい・・・

筆が自転車の荷台を指した。

真央は荷台に座つた。

長い沈黙が続いた。

「ねえ・・筆」

真央がつぶやいた。

「ん？」

筆がボソッと言つた。

真央は胸に何かが刺さつたような気がした。

離れたくない、ずっとこのままがいい。と真央は思つていた。

「・・・なーんにもないっ」

真央は言いたい事がいえなかつた。

言おうとした瞬間、声が出なかつた。

「ちよつ、言えよー気になるじゃん。」

「

筆が口を尖らせてブーブーと言つた。  
真央はフフツと笑つた。

いつのまにか真央は筆の服をしつかり握つていた。  
真つ赤な夕焼けの中に二人の影は消えていつた・・・。

続  
く

## 第一話 デジ中の幸い（後書き）

「んにちは＆はじめましてー。わやーりめるデス。」

初連載「キミと見た奇跡の流星群」には先輩がいまして、私が以前携帯に下書きしていた小説の番外編だったのデス！それがメインよりいいできだつたので今ここに連載させていただいてます。

第一話はあまり流星群に触れてませんが、第一話はなんと・・・！

会話も多めです。

あと、面白くなかつたらどこが面白くないか教えていただきたいです！

よろしくお願ひします！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6946m/>

---

キミと見た奇跡の流星群

2010年10月28日00時53分発行